



ジェンダー・セクシュアリティ研究メジャー 履修ガイド 2019年度版
Major Guide for Gender and Sexuality Studies AY2019

目次

■pGSS (ピグス) ってなに?	1
■pGSSの履修計画って、どうやって立てればいいのか?	2
■pGSSって、誰が教えてくれるの? どんな仲間がいるの?	5
■わからないことがあるんだけど、誰に、いつ質問すればいいのか?	6
■pGSS 授業科目リスト (2019年度版)	7
■Appendix 1: キャンパスマップ内のCGS.....	17
■Appendix 2: CGS ギャラリー	18

2019年9月版

製作：羽生有希（国際基督教大学ジェンダー研究センターRIA：pGSS 担当）

■pGSS (ピグス) ってなに？

ジェンダー・セクシュアリティ研究 (pGSS) は、ジェンダーやセクシュアリティ関連の分野を学際的に研究したい学生に対して、総合的なプログラムを提供するメジャーです。人間は性やジェンダーと全く無関係に生きることはできません。性やジェンダー・セクシュアリティの問題は、政治学や社会学などの社会科学分野や、文学・哲学などの人文科学分野のみならず、人間の体に関する知識としての自然科学分野にまで、幅のある広がりを持っています。つまり、ジェンダー・セクシュアリティを学ぶためには、学際的な視点がまさに不可欠であると言えます。

このメジャーでは、ジェンダー・セクシュアリティの視点から既存の「知」を問い直すこと、つまり現在「あたりまえ」とされている物事に対して、ジェンダー・セクシュアリティというパースペクティブ (視点) を用いてもう一度向き合うこと、そうすることで学問の新しい地平を開拓することを目指しています。

したがって、このメジャーの専攻生には、以下のようなことが求められています。①性やジェンダー、セクシュアリティという基本的な概念、その社会構築性をしっかりと理解し、②教育、職場、家庭などにおけるジェンダー秩序の構築・再構築のプロセスや、言語やメディアによるジェンダー・メッセージなど身の回りの日常的な事象を、ジェンダー・セクシュアリティの視点で捉えてもらいたいこと、③かつ不平等、階級、権力をめぐる議論、「自然」対「文化」をめぐる議論など、スケールの大きな理論的問題に果敢に取り組む姿勢を身につけてもらうこと。

一見難しそうに見えますが、この世の中で人間が関わっているもの全てに、ジェンダー・セクシュアリティは関わっています。つまり、あなたが今興味を抱いている問題にも、ジェンダー・セクシュアリティは多分に関わっているということです。そのような興味を学際的に学ぶことが出来るのがこのメジャーです。

▼ミニコラム

もともと「複数の学問分野を取り入れた研究をしたい」という学生の声を反映させた、「学科間専攻」のプログラムのひとつとして生まれました。今ではICU全体が学科をなくし、より学際的な学びを学生全体に開きました。そのなかでも、特にこのpGSSはそのICUのリベラルアーツ、「学際的なアプローチ」をフルに生かすことができるメジャーです。メジャーのひとつになったことで、Program in Gender and Sexuality Studiesの“Program”がなくなり、公式な略称はGSSですが、Pigsの響きとかけてpGSSが定着しているので、通常はpGSSと呼びます。

■pGSSの履修計画って、どうやって立てればいいのか？

- ◆ 授業内容や、担当教員、開講の有無などは、学期ごと・年度ごとに変更があります。ehandbookで最新のコースオファリングスを参照してください。
- ◆ 選択科目、語学教育科目（ELA/JLP）、一般教育科目 GE、保健体育科目 PE に関しては ehandbook の「卒業の要件」「メジャー制度」などを参照してください。またアカデミック・プランニングセンターもご利用ください。

pGSSをメジャーにするには？

pGSS をメジャーにするには、①【GSS101 ジェンダー研究へのアプローチ】もしくは【LIT117 現代日本文学入門】と、②pGSS が指定する基礎科目のうち①で選んだもの以外の1科目（後述）を履修しておく必要があります。また、pGSS をメジャー 2 (Second Major: ダブルメジャーにした場合、卒業論文を書かない方のメジャー) もしくはマイナーにする場合も、①で指定された科目の履修は必須です。メジャー選択の開始時期は【登録6学期目の登録日から登録6学期目の終了時】（4月入学の場合、3年次春学期）ですので、2年次終わりまでにこれらの科目を履修することをおすすめします。

なお、【GSS101 ジェンダー研究へのアプローチ】はオムニバス形式で開講されているので、ジェンダー研究への導入としてはもちろん、1つのコースで様々な学問領域の知見が得られるコースとしてもおすすめです。まだ興味関心が定まっていない方にとっては効率的なメジャー選択の機会としても受講していただけたらと思います。

メジャー選択手続き一般については、ehandbook の「メジャー制度」をご参照ください。

pGSS のおすすめの履修パターンは？

基礎科目（100番台の授業）：18単位必須

18単位中6単位はpGSS基礎科目より履修。基礎科目は、各学問領域においてジェンダー・セクシュアリティの視点がどのような議論や研究を生み出しているのかについて、基本的な知識と視点を身に付けるためのコース群です。まずはジェンダー・セクシュアリティ領域の重要性に気付くことで、その後のより広範かつ深い学びを促します。メジャー、マイナーの形式にかかわらず、pGSS生は、以下の履修単位が必須となります。

基礎科目（100番台のコース）			
pGSSの基礎科目	GSS101	ジェンダー研究へのアプローチ（3単位）	いずれか 3単位
	LIT117	現代日本文学入門（3単位）	
	GSS102	宗教とジェンダー（2単位）	3単位
	EDU117	開発と教育（3単位）	
	LIT101	文学へのアプローチ	
	LIT107	英文学史II（3単位）	
	LIT110	日本文学史I（3単位）（隔年開講）	
	LIT112	日本文学概論I（3単位）（隔年開講）	
	MCC103	カルチュラル・スタディーズ入門（3単位）	
SOC103	社会学的研究へのアプローチ（3単位）		
pGSSの基礎科目（上記）、もしくはその他基礎科目より		12単位	
合計：18単位			

専攻科目（200番台以上のコース）：21単位必須

pGSSの専攻科目は、コアコース/Core courses と関連科目/Related courses の2つに区分されています。コアコースとは、ジェンダー・セクシュアリティについて、基礎的な

理論を学ぶためにオファーされているコース群のことです。ここで学んだ理論を土台にして、学生は各々の問題関心にもとづき、専門領域を設定していくことになりますので、なるべく多くのコアコースを履修することをお勧めします。なお、専攻科目の必須履修単位は、メジャー・マイナーの形式によって以下の3通りがあります。

①メジャーが pGSS の場合

(シングルメジャー、ダブルメジャーのMJR1、メジャー・マイナーのメジャーに pGSS を選択の場合)

pGSS 専攻科目 (200番台以上のコース)			
コアコース /Core courses	GSS201	ジェンダーと国際関係 (3単位)	およそ の目安 9単位
	GSS301	ジェンダー、セクシュアリティと批評理論 (3単位)	
	GSS303	ジェンダー研究特別講義Ⅰ (3単位) (隔年開講)	
	GSS304	ジェンダー研究特別講義Ⅱ (3単位) (隔年開講)	
	ANT201	文化人類学とジェンダー研究 (3単位) (隔年開講)	
	LIT372	文学理論とフェミニズムⅠ (3単位) (隔年開講)	
	LIT373	文学理論とフェミニズムⅡ (3単位) (隔年開講)	
	SOC201	ジェンダーと社会構造 (3単位)	
関連科目/Related courses (別紙参照)			およそ の目安 12単位
合計21単位			

専攻科目	+	卒業研究	=	合計
21 単位		9 単位		30 単位

②ダブルメジャーのMJR2がpGSSの場合

pGSS 専攻科目 (200番台以上のコース)	
pGSS 専攻科目 (コアコース・関連科目どちらでも)	30単位
合計30単位	

* MJR2でpGSSを選択する場合、pGSS専攻科目のうち300番台のコースを3単位以上履修する必要があります。

③マイナーがpGSSの場合

pGSS専攻科目(コアコースおよび関連科目)は、15単位必要です。特に要件はありませんが、ジェンダー・セクシュアリティ研究の基礎を学ぶためにも、コアコースの履修をおすすめします。

■pGSSって、誰が教えてくれるの？ どんな仲間がいるの？

pGSSは、様々な専門領域の教員スタッフによって運営されています。また、CGSに関わる教職員や研究所助手(RIA)が、学生の学びを強力にバックアップします。

CGSは、ジェンダー・セクシュアリティの研究に関心がある人たち全てに開かれた新しいコミュニケーションスペースとして、2004年4月に発足しました。ここでは学問分野の枠を超え、共通の興味を持った仲間として、多くの学生が集っています。お茶を飲んでおしゃべりしたり、読書会を開催したりと、和気あいあいと楽しんでいます。またCGSでは、図書や映像資料の貸出しなども行っています。所員の先生方と話す機会もありますし、学生スタッフとして講演会・ワークショップなどの運営に携わり、最新の研究に関わっていくチャンスを持つこともできます。

CGSはジェンダー・セクシュアリティに関心を持つ人が自分の学びの枠・交流の枠を一気に広げられるようサポートします。興味のある方は、是非お気軽にお越しください。ERB-1(第一教育研究棟)の3階、エレベーターを降りてすぐの301号室です。

■わからないことがあるんだけど、誰に、いつ質問すればいいの？

質問があるときは、CGS までぜひいらしてください。平日 12 時～16 時に開室しております。pGSS 担当のスタッフは、基本的に金曜日に在室しております (AY2019 春学期)。もし不在の場合でも、他のスタッフにお気軽にお声かけください。メールでのご連絡もお気軽にどうぞ。

pGSS 担当スタッフ 羽生有希
メールアドレス: p002153i★icu.ac.jp
(★を@に変えてください)

■最新情報は、以下のウェブサイトからご確認いただけます。

CGS ウェブサイト「CGS Online」: <http://subsite.icu.ac.jp/cgs/>

CGS twitter: https://twitter.com/icu_cgs

CGS facebook: <https://www.facebook.com/icu.cgs/>

国際基督教大学ジェンダー研究センター
〒181-8585 東京都三鷹市大沢 3-10-2 ERB 301
tel & fax : 0422-33-3448
e-mail: cgs@icu.ac.jp
Web: <http://subsite.icu.ac.jp/cgs/>



pGSS 授業科目リスト (2019年度版)

一般教養科目(GE)

<p>GES077 J 日常生活とジェンダー Gender in Everyday Life</p> <p>社会的文化的に規定された性差（ジェンダー）の仕組みの働きにより「女性」と「男性」は異なる経験を生きてきた。ジェンダー関係が社会のどのような側面で、どのようなメカニズムによって働きどのような問題を提起しているのか、個々の学問領域をこえて学際的に検討し考察する。そのために毎年特定のテーマを決め、そのテーマに関連した領域で研究している教員が毎年チームを組んで共同講座という形式で担当する。</p> <p>担当教員：キム アレン・森木 美恵 開催学期：春学期</p>	<p>GEH022 J 文学と世界（ジェンダーと文学） The World of Literature (Gender and Literature)</p> <p>現代文学理論を使って、とりわけジェンダー的視点から、文学において表象されている自己、身体、セクシュアリティといった諸問題を検討する。文学作品や文化作品の中に現れる女性性、男性性、身体性、自己などの概念の表象を、人種、セクシュアリティ、ジェンダーの観点から分析し、一見無害なテキストに潜む帝国主義、オリエンタリズム、レイシズム、セクシズム、ホモフォビアなどを炙り出します。特に繰り返して語り直されている作品に注目していきます。</p> <p>担当教員：生駒夏美 開催学期：冬学期</p>
--	---

基礎科目

<p>GSS101 J (*選択必修) ジェンダー研究へのアプローチ (3単位) Approaches to Gender Studies</p> <p>ジェンダー研究の基礎科目として必要なジェンダー研究の概要、基本的概念、歴史的背景を理解し、様々な専門分野におけるジェンダー研究の実態を把握し、ジェンダー分析の可能性に関して深く考察する。</p> <p>担当教員：生駒 夏美・高松 香奈 開講学期：春学期</p>	<p>GSS102 J 宗教とジェンダー (2単位) Religion and Gender</p> <p>宗教とジェンダーの不可分の関係について、様々な角度から論じていく。</p> <p>担当教員：堀江 有里 開講学期：冬学期</p>
---	--

<p>EDU117 J 開発と教育 (3単位) Development and Education</p> <p>開発と教育に関する入門コース。国際的な開発課題とそれに対する教育の役割がどのように認識されてきたか、その変遷と課題を概説する。また、具体的なデータやケースを用いて地域、国、社会による課題の類似点や相違点についても議論する。</p> <p>担当教員：西村 幹子 開講学期：春学期</p>	<p>LIT101 E (*選択必修) 文学へのアプローチ (3単位) Approaches to Literature</p> <p>20世紀の散文・詩作品を使って、学生諸君にテキストの読解と分析の方法を身につけてもらう。最終的には、具体的な根拠に支えられた、可能なテキスト解釈にかんする総合的な結論に到達できるようにする。</p> <p>担当教員：アムール=マヤール オリビエ 開講学期：冬学期</p>
<p>LIT107 J 英文学史 II (3単位) History of English Literature II</p> <p>ベオウルフより現代にいたるまでの英文学の流れを理解させる。</p> <p>担当教員：生駒 夏美 開講学期：冬学期</p>	<p>LIT112 J 日本文学概論 I (3単位) Introduction to Japanese Literature I</p> <p>日本文学概論と重複を避けつつ関連させ、文学思潮の展開に重点をおき、時代的背景との関連に注意する。</p> <p>担当教員：クリステワ ツベタナ I. 開講学期：春学期 *LIT110「日本文学史 I」と隔年で開講</p>
<p>LIT117 E (*選択必修) 現代日本文学入門 (3単位) Modern Japanese Literature in English Translation</p> <p>明治以来の現代日本文学を英語で概説する。</p> <p>担当教員：生駒 夏美 開講学期：秋学期</p>	<p>MCC103 J,E,J カルチュラル・スタディーズ入門 (3単位) Introduction to Cultural Studies</p> <p>カルチュラル・スタディーズは、しばしば「文化の政治学」として訳される。それは、文化に向けられる批判的な視線がいやおうなく文化と権力の問題にいきつくからだ。文化は、日々の交渉や抗争が起きる〈場〉でもあり、さまざまな社会的矛盾が露呈する空間でもある。このクラスでは、文化批判の理論として英国において登場し発展してきたカルチュラル・スタディーズの歴史や基本的な概念を学び、私たちの身の回りで日々起きている事象を批判的に考察する方法を学ぶ。</p> <p>担当教員：有元 健/謝 豫琦/山本 敦久 開講学期：春学期/秋学期/秋学期</p>

<p>SOC103 J,E,J 社会学的研究へのアプローチ (3単位) Approaches to Sociological Research</p> <p>社会学の調査研究において使われる計量的および質的調査方法の基礎を学び、社会学者が多様な調査方法を駆使してどのような実証研究を行うか、理論と方法論を関連付けて考察する。社会学原論を既修のこと、または担当教員の受講許可を要する。</p> <p>担当教員：石生 義人／山口 富子／久保田 裕之 開講学期：秋学期／冬学期／冬学期</p>	
<p>専門科目 (コアコース)</p>	
<p>GSS201 E ジェンダーと国際関係 (3単位) Gender and International Relations</p> <p>戦争、軍隊といった安全保障の諸問題、そして貿易、南北格差といった国際経済にかかわる諸問題、そして貧困の女性化、移民、環境、人権といった人間の安全保障の問題それぞれにジェンダーがどのようにかかわっているのかを探る。</p> <p>担当教員：高松 香奈 開講学期：冬学期</p>	<p>GSS301 E ジェンダー、セクシュアリティと批評理論 (3単位) Gender, Sexuality and Critical Theory</p> <p>近年の文学・文化研究に不可欠なジェンダー、セクシュアリティ理論と、それらを用いての批評について、その方法論と実践法を集中的に学ぶ。</p> <p>担当教員：ブリティカ アルサテ フリアナ 開講学期：秋学期</p>
<p>GSS303 J ジェンダー研究特別講義Ⅰ (3単位) Special Topics in Gender Studies I</p> <p>ジェンダー・セクシュアリティ研究分野において講師が専門とする問題群領域の重要課題に関し専門性の高い分析を行う。</p> <p>担当教員：佐藤 美和 開講学期：冬学期 ＊GSS304 「ジェンダー研究特別講義Ⅱ」と隔年で開講</p>	<p>ANT201 J 文化人類学とジェンダー研究 (3単位) Anthropology and Gender Studies</p> <p>人間のジェンダーに対する視点を人類学的に考察するための入門コース。</p> <p>担当教員：加藤 恵津子 開講学期：冬学期 (隔年開講)</p>

<p>LIT373 E 文学理論とフェミニズムⅡ (3単位) Literary Theory and Feminism II</p> <p>フェミニスト文学批評理論を把握し、それにもとづく分析を行う能力を養う。Ⅰは歴史・基礎編と位置づけ、現代の理論的展開を理解するために必要な、過去の重要な文献を講読する。ジェンダー関連授業を少なくとも一つ履修していることが履修の条件。</p> <p>担当教員：ブリティカ アルサテ フリアナ 開講学期：冬学期 *LIT372「文学理論とフェミニズムⅠ」と隔年で開講</p>	<p>SOC201 E ジェンダーと社会構造 (3単位) Gender and Social Structure</p> <p>人種・民族、ジェンダーの視点からみた社会的資源の不平等な分配構造を国際的視野で分析する。</p> <p>*2019年度は開講なし</p>
--	--

専門科目 (関連科目)

<p>ANT207 J 心理人類学 (3単位) Psychological Anthropology</p> <p>文化人類学、心理学、精神医学の関連を探る。精神的な健康および病気がいかに社会・文化的に構築されるか、心理学と文化の関係はどのようなものか、学際的アプローチは具体的な症例の分析にどのように有効か、などを問う。</p> <p>担当教員：加藤 恵津子 *2019年度は開講なし</p>	<p>ANT302 E 不平等の人類学的研究 (3単位) Anthropological Studies of Inequality</p> <p>さまざまな社会で、いかにして不平等や不公平が生じてくるかを理論的に分析し、現代社会における不平等、不公平の問題、例えば性差別、知識や識字問題、生産手段へのアクセスに対する不平等等を理論と現実の統合として捉える</p> <p>担当教員：マラーニー ショウン K. 開講学期：秋学期</p>
<p>ECO257 E 労働経済学 (3単位) Labor Economics</p> <p>最近の労働経済学を学ぶ基礎を教える。</p> <p>担当教員：齋藤 潤 開講学期：冬学期</p>	<p>EDU222 J 教育社会学 (3単位) Sociology of Education</p> <p>広範な教育社会学の主な理論と諸問題について検討する。トピックスとしては、個人の社会化、社会階層化と教育、ジェンダーと民族、学校教育の機能、教育達成などを取り上げる。</p> <p>担当教員：西村 幹子 開講学期：冬学期</p>

<p>EDU306 E 教育社会学上級セミナー：グローバル化と教育（2単位） Advanced Seminar in Sociology of Education: Education in Asia</p> <p>上級レベルに相当する社会と教育の関連というテーマについて受講者に国際比較の視点から考えさせる。アジア地域を中心として教育と社会との関係を検討するために、グローバル化などのトピックについて議論する。グローバル化、民主化と教育など多様なテーマを扱う。</p> <p>担当教員：ドーソン ウォルター P. 開講学期：秋学期</p>	<p>EDU307 E 質的研究法と教育研究（2単位） Qualitative Research Methods in Education</p> <p>主に教育及びコミュニケーション研究の領域における質的研究法の知識と実践能力の形成を目的とする。授業で扱う内容は、質的研究の多様な方法・アプローチで、具体的には、インタビュー、参与観察法、エスノグラフィ、ライフヒストリー分析、会話分析、ドキュメント分析などと、その教育場面等での応用である。</p> <p>*2019年度は開講なし</p>
<p>EDU315 E 比較の視点からみた日本の教育（3単位） Japanese Education in Comparative Perspective</p> <p>日本社会における教育の変遷を公教育を中心に概観したうえで、現代日本の教育の諸問題を、西欧との比較の観点から取り上げ、分析する。</p> <p>担当教員：ランガガー マーク W. 開講学期：*2019年度は開講なし</p>	<p>IRL219 J 国際機構論（3単位） International Organization</p> <p>国際機構の基礎。19世紀の国際行政連合から国際連合にいたる歴史的発展、ならびに国際機構の現代における類型。</p> <p>*2019年度は開講なし</p>
<p>LAW208 E 国際法Ⅰ（3単位） International Law I</p> <p>国際法の歴史的発展、性質、構造、機能。現実の国際法上の諸問題。国際法I,IIはIより順番に従って履修しなければならない。</p> <p>担当教員：新垣 修 開講学期：秋学期</p>	<p>LAW306 J 国際人権法（3単位） International Human Rights Law</p> <p>国際人権法の国内的実施、国際人権法の国際的実施、人権条約の報告制度と個人通報制度、国連の人権活動、人権の地域的保障など、人権保障の法的側面について考究する。</p> <p>担当教員：新垣 修 開講学期：冬学期</p>

<p>LED357 J 外国語としての日本語教授法Ⅱ (3単位) The Teaching of Japanese as a Foreign Language II</p> <p>日本語教授の目的および方法の研究。ICUにおける日本語教育プログラムの見学と模擬実習が行われる。外国語としての日本語を教えようとしている学生のための科目。外国語としての日本語教授法Ⅰ,ⅡはⅠより順番に従って履修しなければならない。</p> <p>担当教員：半田 淳子 開講学期：冬学期</p>	<p>LIT222 E 現代英文学Ⅰ (3単位) Contemporary English Literature I</p> <p>現代イギリスの小説を2作品以上とりあげ、その文化的背景とともに考察する。</p> <p>担当教員：生駒 夏美 *2019年度は開講なし</p>
<p>LIT224 E リアリズム (3単位) Realism</p> <p>19世紀中葉から20世紀初頭の詩あるいは散文の研究。</p> <p>担当教員：生駒 夏美 開講学期：春学期</p>	<p>LIT226 E ロマン主義 (3単位) Romanticism</p> <p>ロマン主義の詩あるいは散文の研究。</p> <p>担当教員：サイモンズ クリストファー E.J. 開講学期：冬学期</p>
<p>LIT 247 O フランス文学・映画・思想Ⅰ (3単位) French Literature, Cinema, Thoughts I</p> <p>芸術表象の諸問題を、フランス文学、映画、思想のジャンル横断的な視点から考察する。扱うテキストおよび資料は毎年異なる。</p> <p>担当教員：アムール=マヤール オリビエ 開講学期：春学期</p>	<p>LIT248 O フランス文学・映画・思想Ⅱ (3単位) French Literature, Cinema, Thoughts II</p> <p>芸術表象の諸問題を、フランス文学、映画、思想のジャンル横断的な視点から考察する。扱うテキストおよび資料は毎年異なる。</p> <p>担当教員：アムール=マヤール オリビエ 開講学期：冬学期</p>
<p>LIT261 J 古代日本文学Ⅰ (3単位) Classical Japanese Literature I</p> <p>奈良・平安時代の文学の研究：その言葉、筋の構成、表現の様式、性格描写などをみる。</p> <p>担当教員：クリステワ ツベタナ I. 開講学期：春学期</p>	<p>LIT262 J 古代日本文学Ⅱ (3単位) Classical Japanese Literature I</p> <p>奈良・平安時代の文学の研究：その言葉、筋の構成、表現の様式、性格描写などをみる。</p> <p>担当教員：クリステワ ツベタナ I.. 開講学期：秋学期</p>

<p>LIT374 E クイア理論における先進的研究 (3単位) Advanced Studies in Queer Theory</p> <p>ジェンダーとクイア理論の選択された分野における特別な高度な研究。ジェンダーとセクシュアリティ研究における学生の知識を、哲学的、審美的な観点から強化することを目的とする。担当教員の受講許可を要する。</p> <p>担当教員：アムール=マヤール オリビエ *2019年度は開講なし</p>	<p>MCC213 J 言語とジェンダー (3単位) Language and Gender</p> <p>言語とジェンダーをめぐる諸理論及び研究アプローチを概観する。言語と社会的実践との関係を批判的に検討するための分析手段を身につけ、さらにそれをを用いて各自が関心を持つコミュニティで収集した言語データを分析する。</p> <p>*2019年度は開講なし</p>
<p>MCC218 E アメリカにおける言語 (3単位) Language in the United States</p> <p>北米の英語の起源、発達及び特徴の研究を通じて英語の歴史的、文化的、社会的諸相を考察する。合わせて地域的、社会的方言、言語政策、及び英語と他言語との関係も論ずる。</p> <p>担当教員：中邑 啓子 開講学期：春学期</p>	<p>MCC271 J 現代コミュニケーション学Ⅰ (2単位) Contemporary Praxes on Communication Study I</p> <p>コミュニケーションの諸問題について考察する。変化の激しい現代において、どういったコミュニケーション現象が顕著なのか、そしてなぜそうした現象が起こるのかを具体的に分析する。</p> <p>担当教員：松本 健太郎 開講学期：冬学期</p>
<p>MCC273 J 異文化コミュニケーション (3単位) Intercultural Communication</p> <p>異文化コミュニケーションにおける既存の理論及び研究の検証を通じて、「異文化」との出会いの意味を考えていく。日常にあふれている異質な他者との出会いが、どのようなコミュニケーションを可能、あるいは不可能にしているのかを探る。</p> <p>担当教員：青沼 智 開講学期：春学期</p>	<p>MCC312 J 言語のバリエーション (3単位) Language Variation</p> <p>日本語における各種のバリエーションを研究する基本的な手法を学ぶ。日本語の地域的、社会的（性差を含む）、文体的変異を検討し、データ収集・分析・解釈の方法を習得してフィールド調査を行う。</p> <p>担当教員：藤田ラウンド 幸世 開講学期：秋学期</p>

<p>MCC313 E リテラシー、社会、発展 (2単位) Literacy, Society and Development</p> <p>読むことと書くこととは文明社会の基礎である。このコースは、社会におけるさまざまな書記(ライティング)システムの言語学的な比較、国レベルまた地域レベルの発展におけるリテラシーの役割を分析する。リテラシーにおけるジェンダーの問題などについても扱う。</p> <p>担当教員：マーハ ジョン C. 開講学期：秋学期</p>	<p>PHR335 J キリスト教倫理 (3単位) Christian Ethics</p> <p>現代におけるアメリカの宗教及び倫理学を政治・社会・文化の文脈でとらえる。</p> <p>担当教員：川本 隆史 開講学期：冬学期</p>
<p>PHR383 J 近代哲学史研究 (3単位) Seminar in the History of Modern Philosophy</p> <p>哲学の各分野についての専門的研究。担当教員の受講許可を要する。</p> <p>担当教員：矢嶋 直規 *2019年度は開講なし</p>	<p>POL215 J 政治理論 (3単位) Political Theory</p> <p>現代政治の理論的考察。民主主義、国家、市民社会、アイデンティティなどの諸主題を検討する。主要な政治制度、イデオロギー、行動類型についても取り上げる。</p> <p>担当教員：木部 尚志 開講学期：秋学期</p>
<p>POL234 E 日本の政治 (3単位) Japanese Politics</p> <p>日本の国家と社会を、政治的アプローチのみでなく、歴史的、社会的、経済的、文化的な側面から包括的に考える。</p> <p>担当教員：フォッセ ヴィルヘルム M. *2019年度は開講なし</p>	<p>POL383 J 政治学特別研究 III (3単位) Advanced Studies in Political Science III</p> <p>ジェンダーが政治・政策決定過程とどのように相互作用しているのかをさぐる。このコースではまず日本社会におけるジェンダー問題全般を概観し、その後政治に焦点をあてて投票行動、政党、議会、政策決定といった政治の様々な局面でジェンダーがなぜ・どのように問題であり、また作用しているのかを分析する。</p> <p>担当教員：高松 香奈 開講学期：春学期</p>
<p>SOC211 J, E, J 家族社会学 (3単位) Sociology of the Family</p> <p>家族と家族組織の一般理論を説明する。主に日本および西洋社会における例について学ぶ。</p> <p>担当教員：久保田 裕之／キム アレン／宇野 真弓</p>	<p>SOC302 J 質的社会学分析 I (3単位) Qualitative Analysis in Sociology I</p> <p>社会学における様々な質的調査方法(ライフヒストリー法、フォーカスグループ法、参与観察法など)および分析的アプローチ(言説分析、内容分析、比較歴史分析など)の理論と実践について学び、それぞれの調査方法・分析方</p>

<p>開講学期：春学期／春学期／冬学期</p>	<p>法の利点と限界について理解を深める。開講年度によって、開講言語が異なる。</p> <p>担当教員：山口 富子 開講学期：春学期</p>
<p>SOC303 J 質的社会学分析 II (3 単位) Qualitative Analysis in Sociology II</p> <p>インタビュー調査法の理論と実践を学ぶ。質的社会学の文献を参考に、先行研究の方法、研究課題や質問票の作成法、インタビューデータの収集法、分析法（オープンコーディング・軸的コーディング・選択的コーディング等）、およびデータの図式化や論文への統合法などについて理解を深める。開講年度によって、開講言語が異なる。</p> <p>担当教員：山口 富子 開講学期：秋学期</p>	<p>SOC304 J 計量社会学分析 I (3 単位) Quantitative Analysis in Sociology I</p> <p>この授業では、サーベイ調査の調査方法を深く学ぶと共に、統計プログラムを使ったサーベイデータの初歩的な統計的分析方法を学ぶ。</p> <p>担当教員：石生 義人 開講学期：春学期</p>
<p>SOC305 J 計量社会学分析 II (3 単位) Quantitative Analysis in Sociology II</p> <p>サーベイデータを使った多変量解析の分析方法を学ぶ。また、多変量解析を使った論文の批判能力を高めるとともに、多変量解析の分析結果を論文にまとめる技術を学ぶ。</p> <p>担当教員：石生 義人 開講学期：秋学期</p>	<p>QCAC512 E 比較文化特論 II： ジェンダーと映像文化 (2 単位) Gender and Visual Culture</p> <p>西洋文化における諸問題と発展の諸類型を、哲学、文学、映像文化（美術、映画、テレビ等）を中心として、アジア（特に日本の）文化を参照しつつ比較の観点から分析する。グローバル化の時代におけるジェンダーの問題にも注目する。</p> <p>担当教員：アムール＝マヤール オリビエ 開講学期：春学期</p>
<p>QCTS507 J ジェンダーと文学 (2 単位) Gender and Literature</p> <p>ジェンダーの視点から、様々な文学の諸問題を考察し、作品研究の方法を検討する。</p> <p>担当教員：生駒 夏美 開講学期：秋学期</p>	<p>QPPS503 E ジェンダーと平和 (2 単位) Gender and Peace</p> <p>紛争下と紛争後のジェンダー関係を考察する。紛争解決・平和活動・復興開発におけるジェンダーの役割についての理論と実践を検証する。</p> <p>担当教員：高松 香奈 開講学期：秋学期</p>

QPSC509 E

社会階層論 (2 単位)

Social Stratification

近代産業社会の構造を特に社会の階級階層構造に注目して考察する。

担当教員：ボンディー クリストファー

開講学期：秋学期

この科目一覧の内容は、2019 年 4 月時点のものです。

授業内容や担当教員、開講の有無などは、学期ごとや年度ごとに変更がありますので、e-handbook を各自確認してください。

また、メジャーの申請や変更、卒業要件等に関しては、アカデミック・プランニング・センターへも相談してください。

制作：羽生有希 (AY2019 pGSS 担当 RIA)

国際基督教大学ジェンダー研究センター (CGS)

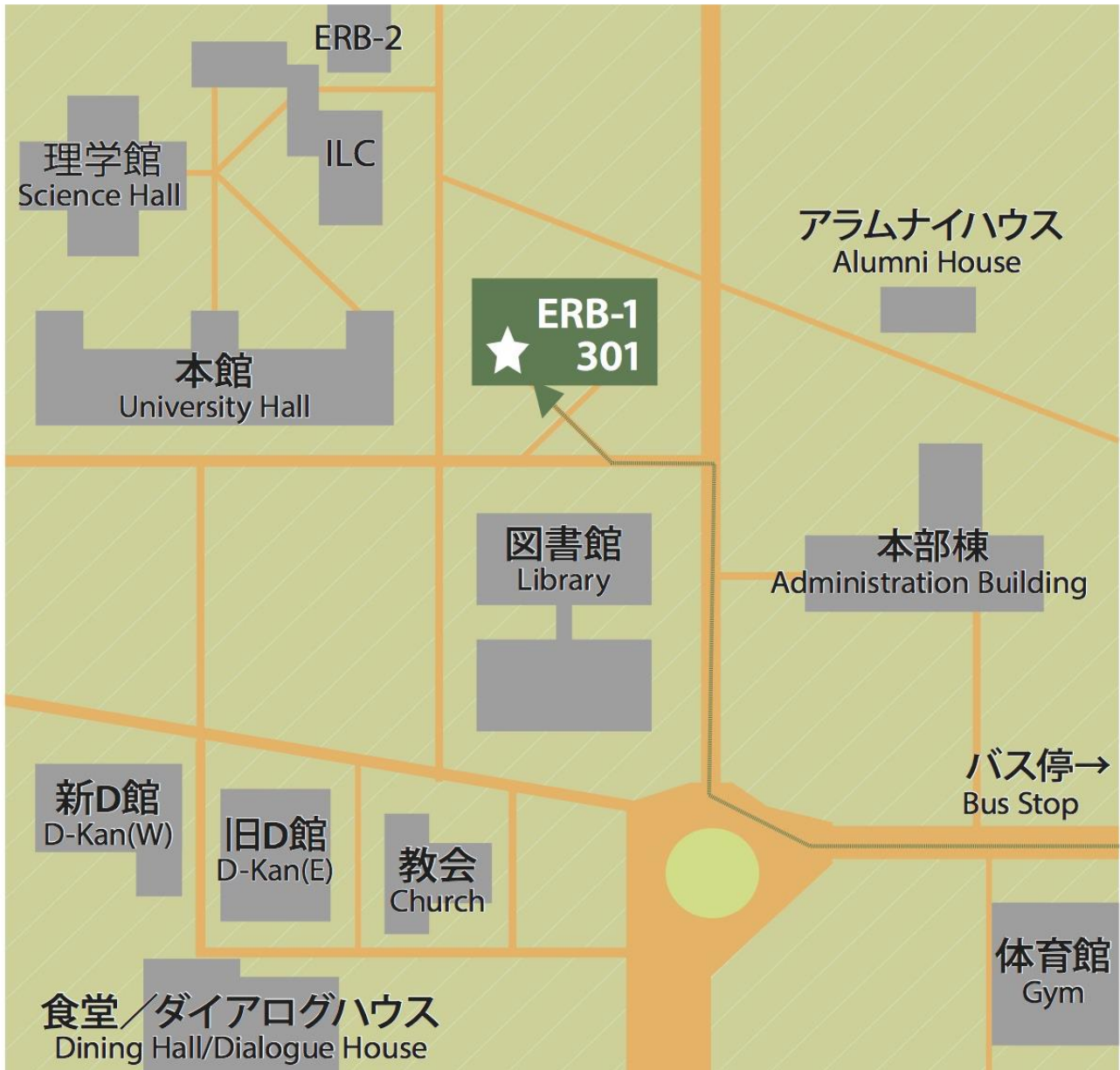
【CGS online】 <http://subsite.icu.ac.jp/cgs/>

【CGS facebook】 <https://ja-jp.facebook.com/icu.cgs/>

【CGS twitter】 @icu_cgs

構内マップ

Campus Map



Appendix 2: CGS ギャラリー

外から見た CGS (3 階角部屋、レインボー・フラッグが目印です)



CGS 入り口 (ようこそ! 外のラックのパンフもご自由にお持ち帰りください)



コミュニティ・スペース

(本を読んだり、おしゃべりしたり、くつろいだり…使い方は自由です！)



図書（登録すれば借りられます。詳しくはスタッフまで）

